

♪ 2017年度

poco a poco

♪

Nr. 6

2017年6月26日(月) 文責: プファイル・辰巳

夏至も過ぎ・・・

先週は暑い日が続きました。それでも、外で元気いっぱい遊ぶ子どもたちは、パウゼの後は音楽室で、汗をかきかき、真っ赤なほっぺで歌っていました。

6月21日が夏至でしたから、一番日の長い日は過ぎたわけですが、今しばらくは、日の長い明るいドイツの夏を楽しむことができますね。寒暖の差が大きいので、油断せず、体調を整えて、1学期の終業式を目指しましょう。



1学期ミニコンサート ♪ ♪ ♪

申し込み締め切りは6月29日(木)!

小・中両学部とも、いろいろな行事やテストなどがあって忙しいこととは思いますが、ミニコンサートに出演を希望している皆さん、申し込み用紙の提出は済ませましたか? 締め切りは29日です。その日の放課後まで受け付けています。忘れずに提出してください。

音楽こぼれ話 <作曲家のこの一曲 ③ E.グリーグ

抒情小曲集より「トロールハウゲンの婚礼の日」>

モーツァルトもバッハもちょっと悲しい曲を紹介しましたので、今回は明るい曲を考え、「6月の結婚(ジューン・プライド)」にちなんで、グリーグの作品を選びました。

エドワルド・グリーグは1843年生まれのノルウェーを代表する作曲家です。「朝の気分」や「ソルヴェイグの歌」などを含む組曲「パール・ギュント」や「ピアノ協奏曲」がグリーグの代表作です。

19世紀後半、ムソルグスキーやシベリウス、スメタナなどに代表されるロ

シアや北欧、東欧を中心に起こった国民楽派(自国の音楽を大切にし、民謡などを取り入れて作曲した人たち)の一人に数えられています。

抒情小曲集は、1867年~1903年にかけて作曲され、全部で66曲もあります。すべての作品に表題がついており、6~8曲ずつまとめられ全10巻にまとめられています。ノルウェーの民族音楽や舞踏音楽の影響が色濃く、人々の身近な生活風景や自然の風景などが生き生きと表現されています。ピアノのために作曲された小品集ですが、グリーグ自身がオーケストラ用に編曲した作品もあります。

「トロールハウゲンの婚礼の日(トロルドハウゲンと日本語で呼ばれることもある)」は、その抒情小曲集の第8巻、6曲目の作品です。1896年に作曲されました。

グリーグは、ノルウェーのベルゲンの出身で、ドイツのライプツィヒで音楽を学んだ後、コペンハーゲンなどで活躍し、1884年にベルゲンに戻ります。ベルゲン近郊の海を見晴らす丘、トロールハウゲン(妖精の丘)に館を建築し、亡くなるまでの約20年間を妻のニーナと共にここで暮らしました。

ここで作曲された「トロールハウゲンの婚礼の日」は、結婚記念日に妻ニーナに贈られた曲とも言われていますし、親しい友人の50歳のお誕生日を記念して作曲されたとも言われています。いずれにしても、婚礼の日の楽しい様子や、美しい花嫁さんが優雅に舞う姿などが容易に想像される美しくも楽しい曲に仕上がっています。ピアノ独奏で聞くもよし、オーケストラ版で聞くもよし。無料で楽譜がダウンロードできるサイトもありますので、ピアノが得意な方は、ご自分で演奏してしまう・・・なんていうのも、いいですね!

ちょっとだけ 演奏会情報

ヘッセン州の現地校は、今週末から早々に夏休みに入りますね。この期間は、コンサート会場やオペラ劇場も夏季休暇に入ってしまう。音楽もシーズンオフです。演奏会シーズンが始まるのは、夏休み明けからです。

では、夏の間、音楽が全く楽しめないのかというと、そうではなく、各地で開かれる野外コンサートや音楽フェスティバルを楽しむことができます。

フランクフルト近郊では下記のようなフェスティバルがあります。

Rheingau Musikfestival

Weilburger Schlosskonzert

Brüder Grimm Festspiele Hanau

インターネットで検索してみてください。プログラムなどが出てきます。